



平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社PLANT

コード番号 7646 URL <http://www.plant-co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三ツ田 勝規

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役社長室長兼管理本部長 (氏名) 松田 恭和

TEL 0776-72-0300

四半期報告書提出予定日 平成27年7月31日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第3四半期の業績(平成26年9月21日～平成27年6月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	64,137	4.8	2,020	△2.9	2,045	△3.6	1,125	△10.8
26年9月期第3四半期	61,174	4.2	2,080	7.8	2,122	12.6	1,262	10.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	141.09	—
26年9月期第3四半期	158.18	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第3四半期	39,545	13,599	34.4
26年9月期	38,507	12,672	32.9

(参考)自己資本 27年9月期第3四半期 13,599百万円 26年9月期 12,672百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	16.50	—	18.00	34.50
27年9月期	—	18.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の業績予想(平成26年9月21日～平成27年9月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	86,700	4.5	2,600	△3.1	2,700	△2.7	1,600	△2.0	200.50

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年9月期3Q	7,980,000 株	26年9月期	7,980,000 株
27年9月期3Q	196 株	26年9月期	196 株
27年9月期3Q	7,979,804 株	26年9月期3Q	7,979,804 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績の予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀による金融緩和を背景に、円安・株高の影響から、主に輸出企業を中心とした景気回復の兆しが見えてきましたが、不安定な海外情勢や円安による原材料の上昇などの影響により、先行きは依然として不透明な状況で推移してまいりました。

小売業界におきましては、3月までは消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化による売り上げの落ち込みがみられました。生活必需品に関しても節約志向が醸成され、厳しい経営環境下にあったものの、4月以降は、駆け込み需要の反動増と、天候などの諸条件に恵まれたため、改善傾向が見られました。また、株価上昇による資産効果や消費マインドの好転、さらには海外旅行者の増加等を背景にして都市部においては高額品の販売が堅調、当社の店舗が所在する地方においても都市部ほどの堅調さは見られないものの徐々に回復の兆しが見え始めてきました。

このような状況のもと、当社の経営理念である、地域の皆様にとっての『暮らしの拠りどころとなる店づくり』を柱として、安さと豊富な品揃えに特に努めてまいりました。

また当社は、昨年9月21日に兵庫県淡路市に「スーパーセンターPLANT淡路店」を新設いたしました。これにより、当第3四半期会計期間末の当社店舗は、合計12府県23店舗（休止中1店舗を除く）となっております。

以上の結果、当第3四半期累計期間における経営成績は、昨年同時期の消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動もあったものの、当社の武器である惣菜や精肉など生鮮部門が好調に推移し、売上高が64,137百万円（前年同四半期比4.8%増）、売上総利益は12,764百万円（前年同四半期比5.3%増）、営業利益は2,020百万円（前年同四半期比2.9%減）、経常利益は2,045百万円（前年同四半期比3.6%減）及び四半期純利益は1,125百万円（前年同四半期比10.8%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ1,038百万円増加し、39,545百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,025百万円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ110百万円増加し、25,945百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が150百万円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ927百万円増加し、13,599百万円となりました。これは主に四半期純利益が1,125百万円となり、剰余金の配当が287百万円となったことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点で平成26年10月30日公表の予想に変更はありません。上記予想は本資料発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、第1四半期会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期累計期間の期首の退職給付引当金が136百万円、繰延税金資産が48百万円それぞれ減少し、利益剰余金が88百万円増加しております。また、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年9月20日)	当第3四半期会計期間 (平成27年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,108	9,134
売掛金	342	409
商品	7,137	7,711
その他	737	643
流動資産合計	16,325	17,898
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,570	9,120
土地	5,424	5,424
その他(純額)	2,561	1,731
有形固定資産合計	16,555	16,276
無形固定資産	1,258	1,239
投資その他の資産	4,367	4,130
固定資産合計	22,181	21,647
資産合計	38,507	39,545
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,711	6,861
電子記録債務	711	839
1年内返済予定の長期借入金	1,691	1,691
未払法人税等	376	386
賞与引当金	451	549
その他	2,371	1,853
流動負債合計	12,314	12,182
固定負債		
長期借入金	8,202	8,325
退職給付引当金	1,046	1,035
資産除去債務	2,242	2,272
その他	2,029	2,129
固定負債合計	13,520	13,763
負債合計	25,835	25,945
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,358	1,358
資本剰余金	1,518	1,518
利益剰余金	9,794	10,721
自己株式	△0	△0
株主資本合計	12,671	13,598
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	1
評価・換算差額等合計	0	1
純資産合計	12,672	13,599
負債純資産合計	38,507	39,545

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成25年9月21日 至 平成26年6月20日)	当第3四半期累計期間 (自 平成26年9月21日 至 平成27年6月20日)
売上高	61,174	64,137
売上原価	49,057	51,373
売上総利益	12,117	12,764
販売費及び一般管理費	10,037	10,743
営業利益	2,080	2,020
営業外収益		
受取手数料	86	79
助成金収入	44	35
その他	48	44
営業外収益合計	179	159
営業外費用		
支払利息	118	112
その他	19	22
営業外費用合計	137	134
経常利益	2,122	2,045
特別利益		
受取損害賠償金	9	7
特別利益合計	9	7
特別損失		
出店計画中止損	56	—
特別損失合計	56	—
税引前四半期純利益	2,075	2,053
法人税、住民税及び事業税	844	860
法人税等調整額	△31	66
法人税等合計	813	927
四半期純利益	1,262	1,125

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社は、小売業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。